



NEWS RELEASE

2006年6月28日

ボッシュ、通信システム系の主要企業である

テレックス・コミュニケーションズ (Telex Communications) を買収

ミネアポリス(米ミネソタ州) ミネアポリス(ミネソタ)のテレックス・コミュニケーションズ・ホールディングス・インク (Telex Communications Holdings Inc.)は、今日決定的な合併合意をロバート・ボッシュ GmbH の全額出資子会社と結んだと発表しました、それによると、ボッシュ社はあるポストのクロージングアジャストメントを条件として、テレックス社負債の引き受けを含め、買収総額 4 億 2000 万ドルでテレックス社を買収するでしょう。一株当たりの買値は株主への合併を考慮して、少なくともテレックス社普通株式の 1 株あたり 24 ドルとなるでしょう。そして今後数年間の追加的偶発な支払いを含め調整項目を加味するとその結果、1 株あたり 29 ドルになるでしょう。また、合併同意書は公的にテレックス社とその関連会社の負債の弁財義務と履行を伴います。合併が完了したのち、存続会社の社名は本社もミネアポリス(ミネソタ)に残し、テレックス・コミュニケーションズ・ホールディングス・インクになるでしょう。

テレックス社は、プロオーディオ、ワイヤレス、ライフセイフティ、通信設備の主要メーカーであり供給者です。そのシステムは大きなスタジアムや空港プロジェクトなどの広範囲なアプリケーションで設置されています。それは顧客が求めているセキュリティシステムに結合されたターンキーソリューションです。2005 年度においては、テレックス社の売上は 3 億 800 万ドルで、9 カ国 14 の地域でおよそ 2,000 人の従業員を抱えています。会社は、Electro Voice、Dyncord、Midas、Klark-Teknik、Telex、そして RTS といった有名ブランドをもっています。合併が完了すると、テレックス社はボッシュ・セキュリティシステム・ディビジョンのリーダーシップの下で活動するようになるでしょう。

「テレックスの買収で、ボッシュセキュリティシステムズは通信システム製品の幅をかなり広げて、プロオーディオ設備市場に入り込むことができます。テレックスディストリビューションネットワークの強さは包括的なセキュリティと通信システムのプロバイダーとして私たちの世界的なマーケット地位を高めるでしょう。同時に、私たちは、米国市場で主導的な位置を得ると予想します。」と、ボッシュ ボードマネージメントメンバーであるピーター・J・マークス (アメリカとセキュリティシステム・ディビジョンの地域的責任者)は述べています。2005 年には、ボッシュ・セキュリティシステムは侵入・火災警報システム、ビデオ監視、アクセスコントロール、および通信システムとのビジネスからおよそ 10 億ユーロの売上を生み出しました。およそ 7,800 人の仲間と共に、この部門にはヨーロッパ、アメリカ大陸、およびアジア太平洋地域において 40 以上の拠点があります。

「テレックスは高品質と顧客満足における強い伝統がある会社です。私たちは、ボッシュ(前向きな会社)によるテレックスの買収が成長指向の環境の中で、更なる発展をする機会を私たちの従業員と仕事関係者に与えると信じています。」と、レイモンド・V・マルポーシャ(テレックス・コミュニケーションズの最高経営責任者)は言いました。

合併同意書はテレックスの役員会とボッシュ ボード・オブ・マネージメントによって承認され、テレックスの筆頭株主のひとつであるジェフェリーズ・キャピタル・パートナーズに率いられたテレックス議決権株を持つ所有者によって承認されました。しかしながら、この取引は規定の承認、および他の通例の条件に従わなければなりません。関係者は今年の第 3 四半期にこの取引を完了するものと期待しています。

